

施策分析シート（令和5年度）

No1

施策名	都市計画道路の整備	施策No	12-02	部課名	防災都市づくり部基盤整備課
				課長名	大木 内線 2730

関連部課名	防災都市づくり部住まい街づくり課				
-------	------------------	--	--	--	--

行政評価	分野	VI	安全安心都市		
事業体系	政策	12	利便性の高い都市基盤の整備		

目的 街の骨格を形成し、円滑で安全な交通空間を確保するために、広幅員の歩車道及び植栽帯、自転車専用通行帯等を備えた都市計画道路の整備を行う。また、整備と併せ電線類の地中化を推進し、避難路や延焼遮断帯として機能させ、防災性の向上を図る。

指	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文
		2年度	3年度	4年度	
①	まちなみの良さ	-	3.02	3.03	お住まいの地域のまちなみ（景観・緑など）は良いと感じますか？
②	防災性	-	2.32	2.29	お住まいの地域は災害に強いと感じますか？
③	安全・安心の実感	-	2.76	2.74	お住まいの地域は犯罪や事故、災害などの点から総合して安全だと感じますか？
④					

標	施策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		2年度	3年度	4年度	5年度見込み	目標値(8年度)	
①	都市計画道路の整備率（%）	58.1	58.1	58.1	58.1	69.3	完成5,160m/計画8,886m(平成29年3月末延長)
②							
③							
④							
⑤							

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目			
	3年度	4年度	差額		3年度	4年度	差額	
	給与関係費	32,362	30,229	▲ 2,133	地方税等	0	0	0
	物件費	158,262	145,682	▲ 12,580	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	9,760	0	▲ 9,760	都支出金	51,002	52,448	1,446
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	51,002	52,448	1,446
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,794	2,973	1,179	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 173,979	▲ 143,254	30,725
	その他行政費用	22,803	16,818	▲ 5,985	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	224,981	195,702	▲ 29,279	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 173,979	▲ 143,254	30,725
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 173,979	▲ 143,254	30,725

貸借対照表	勘定科目			勘定科目	勘定科目			
	3年度	4年度	差額		3年度	4年度	差額	
流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	1,767	1,604	▲ 163
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0
固定資産	有形固定資産	4,848,987	5,124,667	275,680	賞与引当金	1,767	1,604	▲ 163
	土地	4,848,987	5,124,667	275,680	その他の流動負債	0	0	0
	建物	0	0	0	固定負債	14,747	14,955	208
	建物減価償却累計額	0	0	0	特別区債	0	0	0
	工作物等	0	0	0	退職給与引当金	14,747	14,955	208
	工作物等減価償却累計額	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0
無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	16,514	16,559	45	
建設仮勘定	127,394	204,882	77,488	正味財産	4,959,867	5,312,990	353,123	
その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	4,959,867	5,312,990	353,123	
資産の部合計	4,976,381	5,329,549	353,168	負債及び正味財産の部合計	4,976,381	5,329,549	353,168	

財務諸表に関する特措事項等

- 事業用地を確保するために、関係権利者との折衝や遠方に在住している土地所有者等への説明などに多くの時間と経費を要している。
- 行政コストのうち、その他行政費用は、主に都市計画道路測量費や道路予定地仮整備工事費である。

施策の現状・課題・今後の方向性

現状	<p>○都市計画道路については、平成19年度に補助第306号線、平成22年度に補助第107号線の整備完了以降、整備率58.1%に変動はない状況である。</p> <p>○現在事業中の路線は、補助第193号線（第一期区間）、補助第331号線、補助第321号線の3路線である。</p>
課題	<p>○都市計画道路の整備にあたっては、事業用地の取得が不可欠であるが、複雑な権利関係による用地交渉の難航や土壌汚染対策の解決に向けた調整などに時間を要している。</p> <p>○用地買収が完了した補助第331号線については、既存道路との交差処理の関係から、一部区道の通行経路が変更となるため、地域の住民に対して丁寧な説明が必要となる。また、鉄道との交差部分の施工や無電柱化を行うために、鉄道事業者、占用企業者との調整が必要となる。</p> <p>○補助第193号線、第321号線については権利者との交渉に時間がかかっている。</p>
今後の方向性	<p>○都市計画道路は、交通、景観、防災など、さまざまな分野において欠かせない重要な都市施設であることから、早期完成を目指し取り組んでいく。</p> <p>○補助第331号線については、効率的な整備手法の検討を行い、施工手順や整備後の交通規制等の変更内容等について、早めに周知を行っていく。また、整備工事を円滑に進められるよう、鉄道事業者や占用企業者などの関係者と綿密な調整を行う。</p> <p>○補助第193号線、補助第321号線については、関係機関と連携しながら権利者との用地交渉等を積極的に進めていく。</p>

施策の分類		分類についての説明・意見等
5年度	6年度	
重点的に推進	重点的に推進	都市計画道路の整備は、街の防災性向上や安全な交通空間確保等の観点から、優先順位を定めて計画的に推進していく。

施策を構成する事務事業の分類

事務事業名	事務事業 No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		3年度	4年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
都市計画道路用地取得事務	11-02-17	167,633	154,554	157,800	145,483	重点的に推進	重点的に推進	街の骨格を形成し、防災性の向上等に寄与する都市計画道路の整備に伴う用地取得は、計画を実現するための最も基礎的で重要な要素であるため、重点的に推進する。
都市計画道路補助193号線整備事業	11-04-02	22,171	22,101	244,689	235,366	重点的に推進	重点的に推進	本路線の整備は、地域危険度の高い町屋・尾久地区に導入した不燃化特区制度のコア事業であるため、重点的に推進する。
都市計画道路補助321号線整備事業	11-04-11	6,201	3,756	300	704	推進	推進	街の骨格をつくり、地域の防災性向上に寄与する事業であるため、推進する。
都市計画道路補助331号線整備事業	11-04-12	28,977	15,292	87,583	134,114	重点的に推進	重点的に推進	JR等の鉄道で分断された南千住地域を東西に結ぶ本路線は、平時の安全で円滑な交通の確保だけでなく、広域避難場所「都立汐入公園一帯」への避難路としての機能も担うため、整備を重点的に推進する。
合 計		224,982	195,703	490,372	515,667			